

42. アクリル樹脂を用いた前頭洞閉鎖に関する手術手技の報告

研究の概要

2008年12月から2018年6月までに当院にて全交通動脈瘤に対して開頭クリッピング術を行った患者様の経過を追跡いたします。

研究の目的と方法

私たちは全交通動脈瘤に対して開頭クリッピング術を行った際にアクリル樹脂を用いて前頭洞と呼ばれる副鼻腔を閉鎖し、術後感染を予防しています。術後の合併症の発症率について追跡を行い、手術手技の有用性について提言いたします。

本研究の参加について

これにより患者様に新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究に扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただく事にご理解とご協力をお願いいたします。本研究でご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望される方、その他研究に関してご質問がございます際には、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

調査する内容

全交通動脈瘤に対して開頭クリッピング術を行った患者様の年齢、性別、術後合併症の有無について既存のカルテ情報から調査します。患者様の個人情報につきましては記載いたしません。

調査期間

研究期間及び調査対象期間：2008年12月1日～2018年6月31日

研究成果の発表

調査した患者様のデータは、学会や論文で発表いたします。個人が特定されることはありません。

研究代表者

脳神経外科 松浦 任

当院における研究責任者

脳神経外科 松浦 任

問い合わせ先

脳神経外科 松浦 任

TEL: 096-353-6501